

別表 海外で注意しなければいけない感染症(平成27年4月)

主な 感染源	注意すべき病気	主な発生地域	滞在地域				予防方法		主な症状		
			リゾート 観光地	都市部	地方の 町や村	森林・原野	その他	予防接種	発熱	下痢	その他
食べ物 水	★ E型肝炎	世界各地	●	●	●	●	十分火の通った食べ物を食べる 生肉は食べない		●		倦怠感、黄疸（体の皮膚や 白目が黄色になる）
	★ A型肝炎	世界各地（特に、水道設 備が整っていない地域）	●	●	●				●		倦怠感、黄疸（体の皮膚や 白目が黄色になる）
	★ 赤痢	世界各地（特に、水道設 備が整っていない地域）	●	●	●				●	●	激しい腹痛
	★ 腸チフス	世界各地（特に、水道設 備が整っていない地域）	●	●	●		十分火の通った食べ物を食べる 生水は飲まないようにする			●	持続する高熱
	★ コレラ	世界各地（特に、水道設 備が整っていない地域）	●	●	●				●	●	倦怠感、比較的徐脈 (高熱なのに比較的脈が遅い)
	★ ノロウイルス	世界各地	●	●	●		十分火の通った食べ物を食べる 二次感染に注意する		●	●	嘔吐 下痢による脱水
	★ 消化管寄生虫症	世界各地		○	●		こまめな手洗い 十分火の通った食べ物を食べる		●	●	激しい嘔吐、下痢
事故・ケガ	★ 破傷風	世界各地	○	○	○	○	転倒やケガに注意する	●		●	飲み込みにくい、しゃべりにくい、 全身けいれん
蚊	★ マラリア	熱帯・亜熱帯地域（アジ ア、アフリカ、中南米）	○	○	● 夜間	● 夜間	夜間外出を控える 蚊帳の使用虫除けローションの使用 長袖・長ズボンの着用	予防薬（飲み薬）		●	高熱・周期的
	★ デング熱	熱帯・亜熱帯地域（アジ ア、オセアニア、アフリ カ、中南米）	● 昼間	● 昼間	○ 昼間		虫除けローションの使用 室内での蚊取り線香の使用など			○	頭痛、筋肉痛 意識障害
	■ 日本脳炎	アジア		●	●		虫除けローションの使用 予防接種を実施する	●		●	目の奥の痛み 筋肉・関節痛、発疹
	■ 黄熱	アフリカ 南アメリカ			● 昼間	● 昼間				●	昏睡（痛みや刺激に反応しない） 意識障害、頭痛
	■ ウエストナイル熱	北アメリカ アフリカ 中東アジア	●	●	●	●	虫除けローションの使用 長袖・長ズボンの着用			●	頭痛、筋肉痛 悪寒、嘔吐
動物	■ チクングニア熱	東南アジア 南アジア アフリカ	● 昼間	● 昼間	● 昼間	●				●	頭痛、筋肉痛、倦怠感
	■ 狂犬病	世界各地	◆	◆	◆	◆	むやみに動物に触らない 予め狂犬病ワクチン接種を受ける 犬等からの咬傷後、ワクチン等によ る治療	●		●	頭痛、筋肉痛 倦怠感、発疹 関節痛、関節のはれ
	■ 鳥インフルエンザ	アジア、アフリカ、中東			●		農家、市場、動物園などの鳥類との 接触を避ける。手洗い、うがい			●	治癒した受傷部の痛み 知覚過敏 恐水・恐風症状
人	■ MERS	中東	◆	○	○		動物との接触を避ける		●	○	呼吸器症状
	★ 麻しん	世界各地 (特にアジア・アフリカ)	●	●	●			● (MRワクチン)	●	○	呼吸器症状
	★ 風しん	世界各地 (特にアジア・アフリカ)	●	●	●			● (MRワクチン)	●	○	発疹、リンパ節腫脹
沼や湖河川	■ ポリオ	南アジア・アフリカ等		○	○		手洗いの実施	●	●	○	麻痺
	■ レプトスピラ症	世界各地			●				●		悪寒、頭痛、筋痛 腹痛、結膜充血
	■ 住血吸虫症	アジア(揚子江)、アフリカ (ナイル川)、中南米など			○	○	淡水（川や湖）での水浴びを控える		○	○	下痢(血性)、肝臓、脾臓の腫れ
★：最も注意をしなければいけない病気			●：感染する機会が多いので十分に注意				●：ワクチンにより予防できる ※予防接種は、渡航期間、地域、 活動内容により、医師と相談の上 考慮する。		●：よくみられる症状		
■：渡航先、活動内容によって注意しなければいけない病気			○：感染する機会は少ないが注意が必要				○：ときみられる症状				
◆：動物と接触する機会の多い場合には十分に注意											